

安吾 WORLD 2023



《坂口安吾 魅力と謎と伝説》

阿賀浦コミュニティ協議会

阿賀浦地区ゆかりの著名な文豪「坂口安吾」に造詣の深い講師陣を迎えて、理解を深める講座を開催。加えて安吾文学碑をめぐるイベントも企画。奮ってご参加ください。

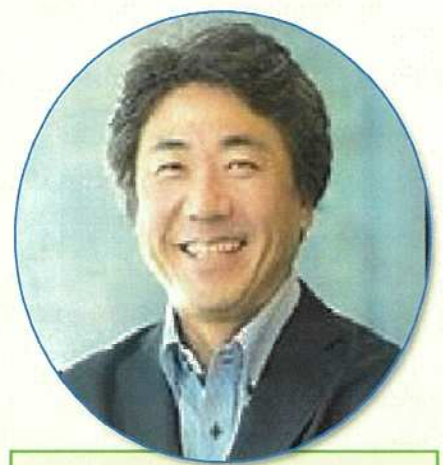
場所： **新津地域学園 2F 201 研修室**
時間： **13:30～15:00**



第1回 6月17日(土)
講師：七北数人氏
テーマ「安吾文学の面白さ」



第2回 8月19日(土)
講師：若月忠信氏
テーマ「安吾句碑建立の詳説」



第4回 11月18日(土)
講師：小川弘幸氏
テーマ「『魅る坂口安吾』刊行から37年、いま思うこと」

—講師プロフィールは裏面参照—

《第3回 9月23日(土) 安吾文学碑まちあるきを予定(裏面参照)》

【募集定員】 先着50名 【参加費】 3回の講座参加費は 無料

【申込&締め切り】 かんたん申込 または メール・FAX・はがき のいずれかにて

6月16日までに、下記の内容を事務局までお知らせください。参加決定後にご案内します。

①参加者氏名・ふりがな ②郵便番号 ③住所 ④電話番号 ⑤年代

【申込先】

阿賀浦コミュニティ協議会 事務局
〒956-0816

秋葉区新津東町2丁目5-6 新津地域学園内

FAX: 0250(25)7655

電子メール: agauracomikyo@coral.plala.or.jp

かんたん申込は下記より
[https:// agauracomikyo.wixsite.com/mysite/contact-6](https://agauracomikyo.wixsite.com/mysite/contact-6)



※取得した個人情報は必要な範囲内でのみ取り扱うものと致します。

【講師陣プロフィール】

七北 数人氏（文芸評論家）

1961年、名古屋市生まれ。大阪大学文学部卒。『坂口安吾全集』（1998～2012 筑摩書房）の編集に携わり、別巻に長大な坂口安吾年譜および関連人物名鑑を執筆。

主な著書に『評伝坂口安吾 魂の事件簿』（2002 集英社）、『泥酔文学読本』（2019 春陽堂書店）、『安吾疾風伝』（2022 春陽堂書店）があり、編著書に岩波文庫の坂口安吾作品集、烏有書林の日本語の醍醐味シリーズなど多数あり。

若月 忠信氏（文芸評論家）

1937年生まれ。新潟大学人文学部人文学科卒業（国文学専攻）、1984年から1993年まで新潟大学非常勤講師（日本文学作品論ほか）、1998年から敬和学園大学特任教授を務めた。坂口安吾の世界をはじめ「文学と風土」にこだわる旅を続ける。主な著書に「資料坂口安吾」「文学の原風景」「坂口安吾の旅」ほか。新潟県出版文化賞選考委員「にいがた市民文学」選考委員。FMにいつ（76.1MHz）で毎週水曜日13:00から「若月文学館」を担当。

小川 弘幸氏（ゆいぽーと副館長）

1962年新潟市（旧新津市）生まれ。地元の印刷会社を振り出しに出版関係及び創庫美術館、天寿園勤務などを経て、1992年イベントプロデューサーとして独立。文化現場を立ち上げ、新潟の独自性をいかした多分野にわたる文化活動の企画制作を行う。「水と土の芸術祭2012」プロデューサー、「水と土の芸術祭2015」総合ディレクター。編著に『甦る坂口安吾』（1986年）、新潟・文化批評誌『風だるま』（1993年～2007年）など。2018年より現職。*ゆいぽーと：新潟市芸術創造村・国際青少年センター

【ご案内】計画中の関連事業詳細は別途通知します

9月23日（土）安吾文学碑を巡るまちあるきを計画中 （講座と同時受付）

- ・計画予定コース（バス利用 会費：昼食代相当予定）
9：30 「あちらこちら命がけ」（新津駅前）→「桜の森の満開の下」（新津図書館）
→他→安吾が眠る坂口家墓所（大安寺）→檀一雄句碑 15：00
現在ゆかりある場所を含め調整中
—まちあるき途中、昼食をとり交流を深め記憶の残るまちあるきを計画しています—

【今年度の開催予定】

- 10月13日（金）安吾生誕記念祭にて映画「白痴」上映、手塚眞氏の講演予定。
秋葉区文化会館大ホール
- 2月17日（土）安吾忌講演後墓参予定。

